



自分を成長させるということ



2学期は、1年の中でも特に自分の「成長」が見えやすい時期です。日々の授業や行事などの学校生活で、皆さんがどのように変わっていくのか、私も先生たちもとても楽しみにしています。

1学期に実施した運動会や校外学習、学年行事の取り組み方やよかったことを生かしていけるように、2学期は、「自分の成長のために、何ができるか」を考えてみてください。

「人間、日々成長!」といいますが、誰かに言われて成長するものではありません。自分で「こうなりたい、成長したい」と思い、そのために行動することが大切です。いくつか、キーワードを挙げてみますので、自分なりに目標を立てるときに参考にしてください。

- ・ 挑戦：新しいことに参加してみる。
苦手な分野に向き合ってみる。
- ・ 継続：毎日少しずつ何かを続けてみる。
継続は力なり。
- ・ 対話：自分の気持ちを話してみる。相手の話も聴いてみて、言葉のキャッチボールをする。
- ・ 貢献：人のために何かしてみる。
- ・ 工夫：ただやるだけでなく、どうすればもっと良くなるかを考える力を使ってみる。



- ・ 感謝：何かしてもらったら、「ありがとう」と声にして伝える。
- ・ 自律：自分で考え、自分で決めて行動する力。
自分の軸をもち、自分を上手にコントロールする力を付けられるといいですね。

周囲の支えに気づき、感謝の気持ちを言葉や行動で伝えると自分の心の成長が感じられるそうです。

2学期は、安全教育の日、合唱コンクール、生徒会選挙、各学年行事が続きます。全ての行事は、皆さんの成長につながるためにねらいや意義があります。

集団としては、1学期の運動会で身に付けた協力する力や校外学習や修学旅行の反省を生かし、正しいことが通る、みんなが居心地よい社会をつくる力を育て、**個人としては**、自分の好きなことや得意なことをどんどん伸ばしていきましょう。好きなことは一生懸命できるはずです。だからこそ、そのパワーは最強です。やがて「自分の強み」となって自分を支える大きな力になります。

たくさんの可能性をもっている皆さんの成長が楽しみです。



人間の成長は、人生を豊かにするための鍵である

画家のパブロ・ピカソは、「私は探求する。」という言葉を残しています。これは、彼が常に新しい表現方法や画法を追求し続けた姿勢を表しています。ピカソにとって、芸術の探求に終わりはありませんでした。1つのスタイルを確立しても、次に新しい可能性を模索し続けたのです。この姿勢は、1つの目標を達成後も、満足することなく、次の目標を新たに探し続けることの大切さを教えてくれます。

物理学者のアルベルト・アインシュタインは、「失敗したことのない人間は、新しいことに挑戦したことがない人間だ」と言っています。誰でも、必ず失敗を経験するだろうが、失敗を恐れずに挑戦し、そこから得た教訓を活かすことこそが、人としての成長につながるのです。

活躍した著名人たちは、異なる視点から「成長」の重要性を語っています。彼らの言葉は、皆さんが、新しい一歩を踏み出す勇気を出すときに、大きなヒントを与えてくれるのではないのでしょうか。



戦後80年を迎えて

今から80年前の夏、8月15日。日本は戦争を終えました。広島と長崎に核爆弾、原子爆弾が落とされました。想像を絶する熱線、爆風、そして放射線が、一瞬にして多くの命を奪い、街を破壊しました。

世界で唯一の被爆国である私たちの国では、この日を忘れず、平和の尊さを次の世代に語り継ぐ努力が続けられています。しかし、戦争を経験し、記憶が残る方々は年々少なくなっています。だからこそ、今を生きている私たちが、その歴史を学び、深く考える責任があるのではないのでしょうか。

過去を知ることは、未来を考えることです。なぜ、戦争の悲劇が起きたのか、いかにして平和が築かれたのかを、私たちは学ぶ必要があります。平和とは、誰かに与えられるものではなく、私たち一人ひとりの意識や行動によって守られていくものです。

ぜひ、皆さんには、自分の身の回りにある平和について考えてほしいです。友達との何気ない会話、部活動に打ち込む時間、毎日のおいしい給食などなど。これらは決して当たり前ではありません。

平和な世界を築くために、私たちに何ができるのか。まずは、身近な人を大切にすること、そして、異なる意見をもつ人とも対話することから始めてみましょう。小さな一歩が、大きな平和へと繋がると信じています。

体験学習からの学び

柳沢中学校では、教室での授業から離れて、さまざまな体験学習が実施され、地域社会の中で多様な学びを得る貴重な機会が多くあります。教科書だけでは学べないこと、社会の仕組みや人々の営みを肌で感じることでさらに理解が深まります。

また、班活動では、他者と協力して課題に取り組むことで、意見を交わし、課題を解決する力をはじめ、コミュニケーション能力や協調性が育まれます。

社会や地域の方々からの温かい言葉かけは、自分の存在意義を実感し、社会の一員である自覚や大きな自信につながることでしょう。

急変し予測が難しい社会を生き抜くには、自分で考え、主体的に行動し、新しい価値を創造する力が不可欠です。

将来、自分の力で人生を豊かに切り拓いていけるよう、今後も体験学習を推進してまいります。



令和7年度学校満足度アンケート 年度ごとの比較

A.全くそうである B.少しそうである C.あまりそうではない D.全くそうではない

質問項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	肯定意見 (A,B)	肯定意見 (A,B)	肯定意見 (A,B)
1. 毎朝、朝食を食べている	89.1%	93.2%	90.4%
2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	88.0%	92.3%	88.9%
3. 自分のいいところを2つ以上言うことができる	66.1%	70.3%	71.6%
4. 将来の夢や目標をもっている	64.5%	72.1%	70.5%
5. 学校に行くのは楽しいと思う	79.8%	82.4%	78.5%
6. 家の人と学校での出来事について話をする	71.6%	82.0%	76.6%
7. 学校内であなたの良いところを認めてくれる先生がいる	83.1%	86.0%	81.2%
8. クラスで行う活動には積極的に取り組んでいる	80.9%	90.1%	81.2%
9. 何かしようと思ったとき、協力してくれる友人がいる	88.5%	91.9%	85.8%
10. 学校内に自分の本音や悩みを話せる友人がいる	76.5%	82.4%	79.3%
11. いじめはどんな理由があってもいけないことである	90.7%	96.4%	87.4%
12. 友達との約束を守っている	94.5%	96.8%	90.8%
13. 自分の係の仕事は、最後までやり遂げている	91.8%	93.2%	89.7%
14. 友人が話しているときは最後まで聞いている	92.3%	93.2%	89.7%
15. 校内に自分の悩みを相談できる先生がいる	65.6%	61.7%	67.0%
16. 今住んでいる地域の行事やボランティア活動に参加したことがある	49.7%	60.4%	55.6%
17. 学級のみんで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある	85.2%	89.6%	85.1%
18. 生徒同士で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めることができる	78.7%	88.3%	83.5%
19. 授業のはじめに目標を理解している	82.5%	86.0%	85.8%
20. 授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている	74.9%	80.2%	75.1%

7月に実施したアンケートを経年比較してみました。

全体的に下降傾向ですが、9割を超えることを目標にしています。

しかし「いじめ」に関する設問は100%でなければなりません。

始業式で話題にした後、先生たちに1人1人と面談をしていただきました。答え方の誤りも多くあったようですが、理由はどうあれ、いじめ、暴力、暴言は許されないことだと伝えていただきました。

「学校に行くのが楽しい」と答える生徒も増加するように魅力ある学校づくりに努めてまいります。

